

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年11月13日

【四半期会計期間】 第63期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）

【会社名】 株式会社ムロコーポレーション

【英訳名】 MURO CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 室 雅文

【本店の所在の場所】 栃木県宇都宮市清原工業団地7番地1

【電話番号】 028(667)7122

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部長 山口 誉

【最寄りの連絡場所】 栃木県宇都宮市清原工業団地7番地1

【電話番号】 028(667)7122

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部長 山口 誉

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第62期 第2四半期 連結累計期間	第63期 第2四半期 連結累計期間	第62期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	10,219,909	10,765,195	20,368,940
経常利益 (千円)	1,390,151	713,437	2,408,025
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	1,011,800	486,247	1,741,635
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	875,499	467,346	1,500,017
純資産額 (千円)	16,126,790	16,721,037	16,627,581
総資産額 (千円)	23,539,669	23,689,864	23,714,364
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	163.55	80.03	281.53
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	68.5	70.6	70.1
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,517,964	304,891	2,802,261
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	632,541	1,023,911	1,554,839
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	377,698	633,842	645,394
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	4,922,882	3,743,785	5,000,312

回次	第62期 第2四半期 連結会計期間	第63期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	76.59	42.25

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。
4. 第63期より、いがり産業株式会社を連結子会社としております。なお、みなし取得日を第1四半期連結会計期間(2019年4月1日)としているため、第1四半期会計期間よりいがり産業株式会社を連結していません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間における主要な関係会社の異動と当社グループの主な事業の内容は、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間において、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）セグメント情報の「2．報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

（主要な関係会社の異動）

当社は、本年4月1日付けで株式取得によりイガリホールディングス株式会社を完全子会社化いたしました。

なお、現物配当等により、孫会社いがり産業株式会社のイガリホールディングス株式会社が保有する全株式を取得し、いがり産業株式会社は当社の直接保有の子会社に該当することになります。

（事業内容）

当社グループ(当社及び当社の関係会社)は当社、子会社7社及び関連会社1社により構成されており、金属関連部品、樹脂関連部品、その他の各事業で製品の製造・販売を主たる業務としております。

当社グループのセグメントの概要は下記のとおりです。

1．金属関連部品事業

部品加工.....主要な製品は駆動伝達・操縦装置部品、エンジン部品、コンプレッサー部品等であります。これら製品は当社及び海外子会社ムロテック オハイオコーポレーション、海外子会社ムロ テック ベトナム コーポレーション、海外子会社ピーティー ムロテック インドネシアが製造・販売、国内子会社北関東プレーティング株式会社がメッキ加工等の製造、海外関連会社3MT(THAILAND)CO.,LTD.が販売をしております。

業務請負.....国内子会社エム・シー・アイ株式会社が、当社の製造工程の一部と製造間接部門の一部の業務を請け負っております。

2．樹脂関連部品事業

部品加工.....主要な製品は自動車及びカメラ向け樹脂成形部品、医療機器関連成形部品、OA機器向けギア部品、ビニール製品の加工等であります。国内子会社いがり産業株式会社が製造・販売をしております。

3．その他

連続ねじ締め機及びねじ連綴体.....当社及び海外子会社ムロ ノース アメリカ インクが製造・販売をしております。

柑橘類皮むき機.....当社が製造・販売をしております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについては重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国は堅調を維持しているものの一時期の勢いは無く、中国はその米国との貿易摩擦等により景気が低迷し、欧州では英国のブレグジット問題が前進しない上にドイツがマイナス成長に陥り、インドも失業率上昇と個人消費の低迷で大きく減速し、東南アジアもこれらの国の影響を受けて低迷し、全体として先行き不透明感はさらに大きく、低調に推移しました。

一方国内経済は、海外需要の落込みを受けて輸出は伸び悩み、消費税増税に伴う駆け込み需要も力強さを欠き、相次ぐ自然災害による経済的なダメージも大きく、よい材料はラグビーワールドカップの成功くらいで全体として低調に推移しました。

このような状況の中、当社グループの連結売上高は、いがり産業グループを子会社化したことにより10,765百万円（前年同期比5.3%増）と増加しました。しかしながら、いがり産業グループを除いた従来の連結対象会社だけで見た場合の売上が前年同期比4.4%減となったことと、原材料費の値上りと鉄スクラップ価格の下落、労務人件費や減価償却費の増加、海外子会社の採算悪化の影響等があり、営業利益は705百万円（前年同期比38.8%減）と減少しました。経常利益は、営業外での前期の為替差益169百万円が一転して102百万円の為替差損となったこともあり、713百万円（前年同期比48.7%減）と減少しました。結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、486百万円（前年同期比51.9%減）と減少しました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

金属関連部品

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は、9,256百万円（前年同期比4.9%減）と減少しました。国内は、トラックメーカーと一部の自動車メーカー及びユニットメーカー向けの売上が客先各社の業績や海外拠点の生産調整等により低迷し、減少しました。海外では、米国子会社の売上が客先の機種切換えに伴う製品打切り等により、インドネシア子会社の売上が客先の生産調整等により、減少しました。

樹脂関連部品

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は、994百万円となりました。

その他

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は、514百万円（前年同期比6.0%増）と増加しました。海外は欧州やカナダで売上が減少したものの米国と韓国で増加し、全体として増加しました。国内は連続ねじ締め機関連が堅調に推移したことと家庭用製品（チョイむきsmart）のメディア紹介による売上寄与もあり、増加しました。

(2) 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ24百万円減少し、23,689百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ117百万円減少し、6,968百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ93百万円増加し、16,721百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、1,256百万円減少し3,743百万円（前連結会計年度末比25.1%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は304百万円（前年同四半期比79.9%減）となりました。これは税金等調整前四半期純利益715百万円、減価償却費589百万円、売上債権の減少337百万円などの資金の流入があったものの、仕入債務の減少851百万円、法人税等の支払額347百万円などの資金の流出があったことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は1,023百万円（前年同四半期比61.9%増）となりました。これは定期預金の払戻による収入114百万円、有価証券の償還による収入714百万円などの資金の流入があったものの、定期預金の預入による支出325百万円、有価証券の取得による支出337百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出275百万円、有形固定資産の取得による支出548百万円、無形固定資産の取得による支出181百万円、投資有価証券の取得による支出219百万円などの資金の流出があったことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は633百万円（前年同四半期比67.8%増）となりました。これは長期借入金の返済による支出233百万円、配当金の支払額149百万円、自己株式の取得による支出212百万円などの資金の流出があったことによります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は19百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	23,711,000
計	23,711,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,546,200	6,546,200	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	6,546,200	6,546,200		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日		6,546,200		1,095,260		895,150

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
有限会社インテレクチュアル	東京都大田区山王4-29-7	1,641	27.15
室 義一郎	栃木県宇都宮市	319	5.29
株式会社三菱UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	300	4.96
室 信子	東京都世田谷区	293	4.85
株式会社メッツコーポレーション	東京都港区赤坂8-11-37	241	3.99
ムロコーポレーション協力企業持株会	栃木県那須烏山市南1-12-25	200	3.32
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1-1-2	200	3.31
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町1-5-5	188	3.11
ムロ社員持株会	栃木県宇都宮市清原工業団地7-1	159	2.64
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	154	2.55
計	-	3,698	61.21

(注) 上記のほか、当社所有の自己株式504千株(発行済株式総数に対する比率7.69%)があります。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式 (自己株式等)			
議決権制限株式 (その他)			
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 504,000		
完全議決権株式 (その他)	普通株式 6,041,300	60,413	
単元未満株式	普通株式 900		
発行済株式総数	6,546,200		
総株主の議決権		60,413	

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合 (%)
株式会社ムロコーポレーション	栃木県宇都宮市 清原工業団地7番地1	504,000		504,000	7.69
計		504,000		504,000	7.69

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,469,004	4,509,544
受取手形及び売掛金	2,584,758	2,906,379
電子記録債権	1,801,956	1,643,799
有価証券	1,463,474	1,286,500
商品及び製品	623,497	626,336
仕掛品	282,756	418,284
原材料及び貯蔵品	334,892	369,255
その他	306,887	301,779
流動資産合計	12,867,228	12,061,880
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,550,375	6,981,313
減価償却累計額	3,870,682	4,194,377
建物及び構築物(純額)	2,679,692	2,786,936
機械装置及び運搬具	12,699,621	13,496,602
減価償却累計額	10,122,053	10,662,140
機械装置及び運搬具(純額)	2,577,568	2,834,462
土地	1,353,239	1,480,616
建設仮勘定	270,129	141,266
その他	5,234,303	5,812,329
減価償却累計額	5,001,897	5,314,862
その他(純額)	232,405	497,467
有形固定資産合計	7,113,035	7,740,748
無形固定資産		
のれん		122,768
その他	128,814	162,685
無形固定資産合計	128,814	285,454
投資その他の資産		
投資有価証券	2,505,376	2,522,795
長期貸付金	11,197	914
繰延税金資産	216,034	189,838
その他	876,956	892,513
貸倒引当金	4,280	4,280
投資その他の資産合計	3,605,285	3,601,781
固定資産合計	10,847,136	11,627,983
資産合計	23,714,364	23,689,864

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	877,586	1,072,315
電子記録債務	2,986,159	2,241,890
短期借入金	300,000	534,090
1年内償還予定の社債		10,000
1年内返済予定の長期借入金	287,223	316,514
未払金	554,744	704,274
未払法人税等	318,285	188,992
賞与引当金	600,355	553,688
役員賞与引当金	40,160	41,321
その他	673,995	563,060
流動負債合計	6,638,511	6,226,147
固定負債		
社債		125,000
長期借入金	175,651	103,087
繰延税金負債	16,826	18,448
役員退職慰労引当金	21,303	21,506
退職給付に係る負債	132,198	107,819
その他	102,289	366,815
固定負債合計	448,271	742,678
負債合計	7,086,783	6,968,826
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,095,260	1,095,260
資本剰余金	904,125	904,125
利益剰余金	14,621,241	14,946,286
自己株式	182,663	395,351
株主資本合計	16,437,964	16,550,321
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	377,984	399,097
為替換算調整勘定	128,533	179,491
退職給付に係る調整累計額	59,833	48,889
その他の包括利益累計額合計	189,616	170,716
純資産合計	16,627,581	16,721,037
負債純資産合計	23,714,364	23,689,864

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	10,219,909	10,765,195
売上原価	7,872,113	8,725,951
売上総利益	2,347,796	2,039,243
販売費及び一般管理費		
運搬費	180,048	188,907
給料及び賞与	319,551	352,899
賞与引当金繰入額	104,001	93,290
役員賞与引当金繰入額	36,817	41,321
退職給付費用	7,081	10,050
減価償却費	16,217	21,295
貸倒引当金繰入額	200	219
のれん償却額	-	13,640
その他	529,965	611,728
販売費及び一般管理費合計	1,193,883	1,333,353
営業利益	1,153,913	705,890
営業外収益		
受取利息	28,977	43,472
受取配当金	16,348	19,847
太陽光売電収入	7,776	7,238
為替差益	169,693	-
その他	21,359	49,812
営業外収益合計	244,156	120,370
営業外費用		
支払利息	4,259	6,756
為替差損	-	102,467
減価償却費	3,085	2,721
その他	572	879
営業外費用合計	7,917	112,824
経常利益	1,390,151	713,437
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	192	-
固定資産売却益	311	681
貸倒引当金戻入額	-	3,353
特別利益合計	504	4,035
特別損失		
固定資産除却損	3,865	1,903
特別損失合計	3,865	1,903
税金等調整前四半期純利益	1,386,790	715,569
法人税、住民税及び事業税	358,662	193,418
法人税等調整額	16,327	35,903
法人税等合計	374,990	229,322
四半期純利益	1,011,800	486,247
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,011,800	486,247

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	1,011,800	486,247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,974	21,112
為替換算調整勘定	149,806	50,957
退職給付に係る調整額	2,531	10,944
その他の包括利益合計	136,300	18,900
四半期包括利益	875,499	467,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	875,499	467,346
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,386,790	715,569
減価償却費	531,550	589,005
のれん償却額	-	13,640
賞与引当金の増減額(は減少)	53,318	31,667
役員賞与引当金の増減額(は減少)	14,812	1,161
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	716	202
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	17,622	24,379
受取利息及び受取配当金	45,326	63,319
支払利息	4,259	6,756
為替差損益(は益)	159,537	73,148
固定資産除却損	3,865	1,903
固定資産売却損	-	681
売上債権の増減額(は増加)	33,595	337,023
たな卸資産の増減額(は増加)	60,757	21,497
仕入債務の増減額(は減少)	75,358	851,153
未払金の増減額(は減少)	100,388	33,831
その他	146,045	185,185
小計	1,662,217	594,358
利息及び配当金の受取額	45,316	61,854
利息の支払額	4,367	3,922
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	185,201	347,399
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,517,964	304,891
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	213,492	325,020
定期預金の払戻による収入	280,450	114,062
有価証券の取得による支出	202,806	337,766
有価証券の償還による収入	588,937	714,728
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	275,187
有形固定資産の取得による支出	499,668	548,160
無形固定資産の取得による支出	12,246	181,094
投資有価証券の取得による支出	451,132	219,400
その他	122,583	33,929
投資活動によるキャッシュ・フロー	632,541	1,023,911
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	142,876	233,209
配当金の支払額	234,087	149,443
自己株式の取得による支出	108	212,688
リース債務の返済による支出	626	38,501
財務活動によるキャッシュ・フロー	377,698	633,842
現金及び現金同等物に係る換算差額	67,594	96,335
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	440,129	1,256,527
現金及び現金同等物の期首残高	4,482,752	5,000,312
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 4,922,882	1 3,743,785

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

1. 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間において、イガリホールディングス株式会社の株式を取得しました。

なお、現物配当等により、孫会社いがり産業株式会社のイガリホールディングス株式会社が保有する全株式を取得し、いがり産業株式会社は当社の直接保有の子会社に該当することになりましたので連結の範囲に含めておりません。

2. 持分法適用の範囲の重要な変更

当第2四半期連結累計期間において、持分法適用の範囲に重要な変更はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に記載されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	5,337,179千円	4,509,544千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	414,297	765,758
現金及び現金同等物	4,922,882	3,743,785

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月22日 定時株主総会	普通株式	235,076	38	2018年3月31日	2018年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年11月12日 取締役会	普通株式	123,723	20	2018年9月30日	2018年12月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月21日 定時株主総会	普通株式	148,467	24	2019年3月31日	2019年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月13日 取締役会	普通株式	132,927	22	2019年9月30日	2019年12月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計				
売上高							
外部顧客 への売上 高	9,735,110		9,735,110	484,799	10,219,909		10,219,909
セグメント間の内部売上高又は振替高							
計	9,735,110		9,735,110	484,799	10,219,909		10,219,909
セグメント利益	1,381,790		1,381,790	97,414	1,479,205	325,292	1,153,913

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連続体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。
2. セグメント利益の調整額 325,292千円には、報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計				
売上高							
外部顧客 への売上 高	9,256,845	994,307	10,251,153	514,042	10,765,195		10,765,195
セグメント間の内部売上高又は振替高		233	233		233	233	
計	9,256,845	994,540	10,251,386	514,042	10,765,428	233	10,765,195
セグメント利益	988,892	28,172	1,017,064	74,002	1,091,067	385,176	705,890

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連続体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。
2. セグメント利益の調整額 385,176千円には、セグメント間取引消去 233千円、報告セグメントに配分していない全社費用 384,943千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、イガリホールディングス株式会社の株式を取得したことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「車輛関連部品事業」の1区分から、「金属関連部品事業」及び「樹脂関連部品事業」の2区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益	163円55銭	80円03銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,011,800	486,247
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,011,800	486,247
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,186	6,075

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、2019年10月9日開催の取締役会において、新たに子会社を設立することについて決議いたしました。

1. 設立の理由

当社は、更なる自動車部品需要の増加が期待される中国地域において、自動車部品需要への対応、海外事業の一層の拡大を図ることを目的として、下記の概要で子会社設立を決定いたしました。

2. 設立する子会社の概要

- むろきしゃぶけん(こほく)ゆうげんこうし
- (1) 商号 睦諾汽車部件(湖北)有限公司
英文表記: MURO TECH XIAOGAN HUBEI CO., LTD
こほくしょう こうかんし こうしんぎじゅつかいはつく
- (2) 所在地 湖北省 孝感市 高新技术開発区
- (3) 代表者 総経理 船山 博
- (4) 事業内容 自動車部品の製造販売並びに輸出入
- (5) 資本金 US \$ 7,360,000 (約8億円)
- (6) 出資比率 当社 100%
- (7) 設立年月日 2019年11月(予定)
- (8) 稼働開始 2021年4月(予定)

3. 今後の見通し

当該子会社設立による連結業績に与える影響は軽微であります。

2 【その他】

2019年11月13日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、2019年9月30日の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額	132,927千円
(ロ) 1株当たりの金額	22円00銭
(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日	2019年12月9日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月13日

株式会社 ムロコーポレーション
取締役 会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大 中 康 宏 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松 浦 竜 人 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ムロコーポレーションの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ムロコーポレーション及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。